



飛驒市

No.79

令和5年11月15日発行

議会だより



第1回ひだ流葉クロスカントリー-2023 10月8日(日)(神岡町内)

9月定例会の概要	2～ 5
一般質問(10人)	6～10
管外視察報告	11
要望書提出・編集後記	12

発行/飛驒市議会 ■編集/広報広聴特別委員会



定例会情報

令和5年 第3回定例会(9月5日～9月27日)

本定例会は、令和5年度補正予算計上のほか、令和4年度歳入歳出決算などを審査するため、9月5日から9月27日までの23日間の会期で開催しました。なお、上程された条例改正や補正予算などの報告2件、議案18件、認定14件については、すべて原案のとおり承認、可決、認定としました。本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 子育てに関すること

- 議案第80号 飛騨市子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援法及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正

- Q 国の縦割り行政を乗り越えて、市としては教育との関係は独自に取り組む必要があるのではないかと
A 先般、子ども家庭庁・文科省・厚労省の関係者が視察に来たが、飛騨市のような小さな自治体の方が垣根なく一体性を持った施策を進めている

● 地籍調査に関すること

- 議案第82号 字地域の変更について(河合町角川XI地区)

- 議案第83号 字地域の変更について(神岡町西VII地区)

地籍調査の結果、字区域の境界線が地形上明確ではない状況が確認されたため、今後の土地管理及び利用を円滑に行えるよう、今回の地籍調査を機に境界を整理するもの

- Q 地籍調査はこの先ずっと続いていくのか
A 適正な課税と森林整備の基でもあり、引き続き調査を推進していく

● 土地改良事業に関すること

- 議案第84号 字地域の変更について(古川町数河地区)

数人共同施行土地改良事業の結果、圃場整備後の土地管理及び利用を円滑に行えるよう、今回、換地処分を機に境界を整理するもの

● 防災に関すること

- 議案第81号 飛騨市火災予防条例の一部を改正する条例について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令等の改正に伴う改正

- Q 対象火器設備の設置緩和とあるが、その背景は
A 実態に即した改正で、炭火焼器の離隔距離等の条件を満たしていればよく、設置しやすくなった

● 人事案件に関すること

- 議案第74～79号 人権擁護委員候補者の推薦同意

森本 晴男(古川町) 藤田 計人(河合町) 中田 秀夫(神岡町)
蒲 貞憲(古川町) 服部 宗純(神岡町) 小林 観善(宮川町)
【任命期間】令和6年1月1日から令和8年12月31日までの3年間

- Q 人権擁護委員の推薦基準は
A 新任は満68歳以下、再任は満75歳以下である

● 議決が必要な財産の取得に関すること

予定価格2,000万円以上の財産の買い入れについて審議

- 議案第73号 財産の取得について(救助工作車1台)

- Q 現在のものは購入後、何年経過したのか
A 平成12年11月に購入し23年経過している

● 議決が必要な損害賠償の額に関すること

- 議案第90号 損害賠償の額の決定について

市道川東線(宮川町内)山側法面からの落石による自動車損傷事故における損害賠償額の決定

- Q どれくらいの高さから落石があったのか。その後どのような対策をしたのか

A 高さは不明だが、落ちてきた石は80cm角であり該当市道を全面通行止めとし点検を行った

● 予算に関すること

令和5年度 補正予算

- 議案第85号 令和5年度飛騨市一般会計補正予算(補正第2号)
13億6,804万2千円を増額、補正後の予算額は199億6,053万円
- 議案第86号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第1号)
7,412万円を増額、補正後の予算額は26億9,312万円
- 議案第87号 令和5年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第1号)
保険勘定の1億3,737万円を増額、補正後の予算額は34億9,057万円、事業勘定の116万8千円を増額、補正後の予算額は2,116万8千円
- 議案第88号 令和5年度飛騨市給食費特別会計補正予算(補正第1号)
45万円を増額、補正後の予算額は3,545万円
- 議案第89号 令和5年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算(補正第1号)
事業収益の3,500万円を増額、補正後の予算額は15億5,227万4千円、事業費用の1,864万4千円を増額、補正後の予算額は17億9,424万6千円

総務部

Q 今年度、AED10台を屋外設置した後、来年度以降も屋外設置を進めていくのか

A 来年度以降、残り40台を逐次、市で保有している施設の屋外に設置を計画している

企画部

Q 保育園留学の検証事業は(株)キッチハイクとの随意契約か

A 随意契約を想定している

振興事務所

Q 宮川町種蔵の板倉の屋根修理は壊れた時に行うのか、計画的に行うのか

A 種蔵の板倉は20棟ある。破損した板倉の所有者からの申し入れにより行う

市民福祉部

Q 古川デイサービスの移転と、ハートピアの改修はいつ頃で事務所として機能する時期は

A 移転先の買収は完了している。移転時期は早くとも令和6年4月を想定、ハートピアの改修は令和7年7月頃完了見込みである

環境水道部

Q クリーンセンターで6名採用し、うち2名が退職された要因は何か

A 用務に就いたところ、本人には難しいところがあり辞められた

農林部

Q 黒内地内最適土地利用総合対策事業の対象となった事由は

A 定額助成であり、1,000万円以内で10/10の補助になるので、来年度を見越して今回計上した

商工観光部

Q 小島城への道に樹木が落ちており滑りやすいが、整備の対応は

A 文化振興課が主体だが担当者が現場を確認した時点及び、ツアー時に状況が分かった時点で情報の共有を図りながら対応していく

病院事務局

Q 6月議会に指定金融機関が病院の窓口から撤退する話はなかった。なぜ今なのか

A 6月議会時点では人はいなくなるが集金はして貰えると思っていた。集金も毎日出来ないことが6月議会以降に分かって、これに対応して入出金機を探したという流れである

定例会の概要

消防本部

Q ヘルメットの更新基準はあるのか

A メーカーは7～10年を推奨しているが、使用頻度、劣化具合により更新する

● 決算の認定に関すること

令和4年度 歳入歳出決算

- 認定第1号 令和4年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和4年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和4年度飛騨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和4年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和4年度飛騨市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和4年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 令和4年度飛騨市農村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 令和4年度飛騨市個別排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第9号 令和4年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第10号 令和4年度飛騨市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第11号 令和4年度飛騨市情報施設特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第12号 令和4年度飛騨市給食費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第13号 令和4年度飛騨市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第14号 令和4年度飛騨市国民健康保険病院事業会計決算の認定について

◆ 討 論 ◆

認定第1号 令和4年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について（賛成者多数で可決されました）

反対討論 籠山恵美子 議員

令和4年度決算は12億6千万円の黒字であり、積み立てた財政調整基金（以下、財調）は64億4千万円となった。

財調の定義は「年度間の財源の不均衡を調整するための基金」であり、常識的に標準財政規模の10～20%が適正とされている。飛騨市に当てはめると、21億4千万円ですむのになぜこのように多額に積み上げるのか。市はその根拠を、「大災害が発生した場合の被災者1人当たりの初期対応費用」だと言う。それを「現金で配る」となれば、これは特定目的基金で財調ではありえない。市民本位の財政出動を求め、反対する。

小笠原	水上	谷口	上ヶ吹	井端	澤	住田(議長)	徳島	前川	野村	籠山	高原	葛谷
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○

賛成：○ 反対：×

総務部

Q マンホールトイレは今後、衛生管理上の清掃、事業者と連携はどうしているのか

A 連携は取れているので、トイレを使用した場合、洗浄、汚れのひどいものは廃棄し新品にする

会計事務局

Q 市から振込された時に、個別内訳がないため何の振込か分からないがその対応は

A 以前は全て内訳はがきを送っていたが希望者には送っている。振込手数料がそれぞれかかるため、まとめているが、常に必要な方には発行するよう考える

企画部

Q 魅力ある地元高校事業は市がリードしているのか

A それぞれの高校側からの発案により事業を展開している

振興事務所

Q 各振興事務所の業務の負担感は

A システム化は進んでいるが、マンパワー不足は否めない感がある

環境水道部

Q ゴミ出しアプリは外国人技能実習生等に周知しているのか

A 外国人技能実習生へは受け入れ事業者や市が主催する交流会の場で、転入者へは転入届出時に説明している

基盤整備部

Q 未舗装林道の不良個所の対応は

A パトロール等において対応している

農 林 部

Q 飛騨市広葉樹活用コンソーシアムの効果は

A 需要は伸びている。新しい製材所(300m³/年)が稼働しているし、将来的に1,000m³/年まで伸ばしたい

市民福祉部

Q 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がった。今7回目の接種券が届いたが年度末までに8回目はあるのか、また無料なのか

A 7回目最後の接種期間で年度末まで無料である。次年度は確定していないが年に1回の接種で有料になる予定である

商工観光部

Q 定住就職者奨励金や市民雇用奨励金交付時期を1年から3年に変更になっているがその要因は

A 令和3年までは就職1年で支払いをしていたが、1年では定住ではなく1年経った頃に仕事を辞めたということもあるので変更した

教育委員会事務局

Q タブレット導入に伴い、電子教科書の導入をどのように考えているのか

A 英語については国の政策で一部導入、算数・国語については実証的に導入している学校もある。しかし、デジタルが合う子もいれば、紙の教科書の方がよい生徒もおり、今後検討していきたい

病院事務局

Q キャッシュフローの件で資金期末残高が増えているが、その理由はなにか

A 企業債の借入で一昨年は電子カルテの購入、昨年はMRIの購入で増加になっている

消 防 本 部

Q シフトで女性消防職員が2名になることもあるが対応できるのか

A 仮眠室に簡易ベッドで2名まで対応できるように考えていく

● 報告に関すること

● 報告第5号 損害賠償の額の決定について

【専決第6号】市有地内の倒木による墓石損傷事故における損害賠償額の決定

【専決第7号】市道グレーチングによる自転車損傷事故における損害賠償額の決定

【専決第8号】割石温泉における草刈り作業中の飛び石による自動車窓ガラス損傷事故における損害賠償額の決定

Q 倒木の時期は不明ということだが、処理時間がかかっているのは積雪の影響か

A 所有者の特定や示談までの交渉に時間を要した

● 報告第6号 株式会社飛騨ゆいの経営状況報告について

令和4年度事業報告及び決算に関する報告と令和5年度事業計画及び予算に関する報告

Q 人手不足の対応は

A パート職員の多用や経験者の雇用に努めている



井端 浩二 議員

給食費について

①食材高騰による今後の見通しと支援は。②今後、給食費は値上げするのか。

答 弁 2点質問があったが関連があるのでまとめて答弁する。市においても定期的に物価高騰対策会議を開催し、市内の物価等の動向を把握しつつ市民への影響を確認し対策を協議している。給食の材料である野菜などは日々の価格変動により把握しづらく、一方で主食の米やパン、牛乳などは岐阜県学校給食会から仕入れするので、物価高騰の影響は明確である。給食原材料価格上昇による支援は令和4年度350万円、本年度では663万円支援しており、デザートのを量を調整したり、海外産を含めて安価な食材に切り替えしたりして対応しているが限界が見えてきている。現在も物価高騰は続いており、支援継続は限界があり今後も

必要な栄養価を確保していくためには給食費の値上げはやむを得ないものと考えている。各給食センターにおいて給食運営委員会を開催し、ご意見を伺い保護者の皆様にご理解頂けるよう努めていきたい。

人口減少による地域行事の衰退について

①祭の運営会議に参加し、どこまで協力できるか。②「ヒダスケ」で祭などの人足が募集できるか。きつね火まつりのお手伝いは何人きたのか。③祭の人足不足や文化継承はどうしていくのか。

答 弁 ①運営会議が開催され参加要請があれば、求められる範囲で市ができるサポートをしていきたい。②今年のように要請があればできる。今年のかつね火まつりは20名募集のうち13名の応募である。③市に支援を求められれば、その範囲内で協力していくというスタンスであり、文化継承についても要請があればできる範囲で支援したい。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

ふるさと納税返礼品の対応は

ふるさと納税は、飛騨市にとって重要な収入源で今後も、ふるさと

納税をして頂き単年度を中心とした財源に充てる。しかし、今年10月よりふるさと納税の返礼品におけるルールの変更が行われ飛騨市でも順調に伸びている、ふるさと納税のルール変更により影響が出ないか心配である。①地場産品限定ルール対応について②事務費用の厳格化の対応は③返礼品の新規開拓や開発は④ふるさと納税のマーケティングについて

答 弁 ①今までは、海外産の牛肉を市内で熟成加工や県外で収穫した玄米を市内で精白した米も地場産品と認められたが、10月以降は認められない。飛騨市では、加工のみを行うといった返礼品は従前よりない。②今回の厳格化の対象となった寄付金受領書の発行事務費用やワンストップ特例申請の経費まで含め寄付金額の5割以内となる

ようにしていた。③市内の中間支援事業者とも連携して、新たな返礼品の発掘に全力を尽くす。④今後、効果的なポータルサイトの導入や返礼品を良くし、多くの皆さんに寄付をいただけるよう努力する。

消防団員の確保や訓練について

地域の安全確保に欠かせない消防団であるが、団員数は減少を続けている。団員の減少対策を早急に行い市民が安心して暮らせる地域づくりのため、団員確保が重要である。①消防団訓練について②消防団員の確保について③災害に即した訓練について

答 弁 ①大会は、基本技術、器具愛護、安全配慮について指導要領を基に実際の災害現場に役立つものとする②消防団活動のマイナスイメージを無くし若年層の入団を図る③継続的に訓練はしている。消防団独自で訓練も計画し、実践訓練を実施し災害対応に備える。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



水上 雅廣 議員

広葉樹のまちづくりについて

広葉樹活用推進コンソーシアムの発足以降、新たな製材所の稼働や顧客の獲得など順調に推移していると思うが、広葉樹活用を含む森林のまちづくりをどう進めるのか。

稼働や顧客の獲得など順調に推移していると思うが、広葉樹活用を含む森林のまちづくりをどう進めるのか。

答 弁 森林環境譲与税を活用し、効率的な木材生産や広葉樹のまちづくりへの活用も引き続き実施しながら未整備森林の整備、集落に近い森林の整備を進め、目に見える森林環境の整備にも取り組み緑豊かなまちづくりを目指す。

再生可能エネルギーの活用推進について

再生可能エネルギーの調査・研究の成果や今後の取り組み方針は。

答 弁 市内の自然・社会・経済条件等を踏まえた温室効果ガス排出量及び必要削減量の推計や省

エネ化・再エネ導入などの基礎調査を行った。地域の将来ビジョンや脱炭素化への中長期的なシナリオの策定、その実現に向けた具体的な対策や体制を検討するために、市民や事業者、各種団体、金融機関等で構成する脱炭素協議会を設置し、ビジョン等の合意形成を図っていく。

来年度予算編成について

人事院勧告に基づく職員人件費の増高、物価高騰等による様々な経費の高騰続く中、ますます多様化する地域課題への対応や、懸案事業への取り組みなど、来年度予算編成の方針・方向性は。

答 弁 経常経費は更に厳しく見直す。指定管理施設等施設利用料金の引上げを検討。市民への行政サービスの質を落とすことはできない。投資的経費についてはある程度上限を定めざるを得ない。これまでの行政サービス経費、ハード事業の実績額を踏まえ投資額を試算中。

YouTube ▶



前川 文博 議員

スクールバスについて

①老朽化が著しいバスがある。子供が乗ったバスを保護者が安心して見送れるように、更新していくことが必要

では。

答 弁 ①平成21年購入で、約26万キロと約23万キロ走行。概ね15年及び走行距離20万キロを超えた段階で更新を検討している。老朽化のいちじるしい車両は来年度以降の更新を検討していく。

船津火災跡地活用は

①土地造成費用と前払い家賃として3,500万円が予算計上してある。内訳と事業内容は、②10年一括借上げ方式となっているが、家賃などの費用負担はどうなるのか。

答 弁 ①医療従事者の安定的な確保のため単身用住宅6戸を整備する方針。あわせて一般貸付住

宅の整備の提案を求める。神岡町内のアパート不足に対応するとともに、中心市街地の活性化に寄与することを目指す。3,500万円のうち8割以上が宅地造成費と予想。民間整備でコストダウンを図り前払い家賃分が増えることに期待。②病院での一括借上げ方式なので「飛騨市医師等住宅の設置及び管理に関する規則」に則り、入居者から一定額の家賃を病院に支払ってもらう。

グラウンドや都市公園のクギ対策は

①過去に目印で釘を打ちつけていた。児童生徒が大けがをする前に対策が必要ではないか。

答 弁 ①4校において危険と判断される釘が見つかった。これらは全て回収した。また、野球場などで、危険と思われる釘30本程度を撤去した。利用団体に対し行為の危険性や責任について周知し、撤去もしくは適切な管理をしていただく。

YouTube ▶





野村 勝憲 議員

「さくら」再放送と観光振興

7月観光・ふるさと納税・町づくりをテーマに新潟・東北8自治体視察と都竹市長肝いり4大事業に疑問の声参考に問う。まず、さくら再放送の署名で私が集めた1,460人の期待に応え①さくらとユネスコを縁に郡上、高山と観光連携を②さくらの舞台三嶋ろうそく店、大イチョウ、桜並木に案内看板を③NHK「のど自慢」を飛騨市で。

答 弁 ①新たな周遊コース検討②権利処理上の課題で設置は困難③令和7年度以降の開催を検討。

温泉施設の入湯税と入浴料金について

①入湯税50円の再提案と入浴料金は50円値上げ
②下呂温泉に入浴料金430円で入湯税0円の鉱泉浴場があり、低鉱泉のたんぼの湯も入湯税0円へ。

答 弁 ①入湯税は100円とし、入浴料金100円の

値上げ案で検討②収益には影響ない。

ふるさと納税と猫事業について

①ふるさと納税は地域活性化が目的で、こどものこころクリニックに多額の赤字補填や猫事業に2.5億円使い市の活性化になっていない。その使い道は？②ネコリパブリックへは1億円、残り1.5億円は他の犬猫事業者へ③今年8ヶ月間の猫の店入店者数と売り上げ金額は？

答 弁 ①施設整備や運営費に活用②今年度で終了と他団体への交付はしない③1,200人と400万円。

大学設立と飛騨古川駅東開発について

急激な18歳人口減少で18年後240大学が消えると予測①大学設立資金70億円の用途は②駅東の商業・温泉施設等開業は来春と発表済みではないか。

答 弁 ①企業版とふるさと納税で約2億円②計画の遅れで令和8年夏開業。

YouTube ▶



谷口 敬信 議員

神岡町山之村地区へのアクセス道路(大規模林道)について

①高山市との道路維持管理の連帯は ②冬季通行止めの期間と表示方法は ③アクセス道路(天生湿原・池ヶ原湿原)の安全性確保は

答 弁 ①高山市と接続している道路については、連絡協議会のような組織は設置していないが、維持管理の協定の終結に向け高山市と協議を進めている。高山市側の道路除草や枝払等の申し入れは早期改善をお願いします。②期間は12月1日から4月28日までを基本とし、高山市と協議した上で実施しているが、降雪状況によって変動する。表示方法は令和3年度より市のホームページにて最新の情報を提供している。③天生湿原は国道360号線で、古川・高山土木事務所において週1回の頻度で、また池ヶ原湿原は市の管理する林道で、月

1回の頻度で道路パトロールを実施している。

森林環境整備について

①森林整備事業と固定資産税の非課税について
②森林環境贈与税の用途について ③林道整備計画について

答 弁 ①保安林には該当するが、間伐特措法に関しては定めが無いので非課税とすることは困難であり林業施策の中でご議論いただくものである。②今後はこれまでの事業を継続する一方、地域、林業事業者、市の三者での森林整備は非常に重要であると考えられますので、その視点を事業に取り入れるよう検討する。③飛騨市内の林道の総延長は293kmであり林道の法面や舗装の改良、林道橋の点検・補修等の長寿命化事業を進めている。林道森安～万波線は継続中の事業で残り3kmであり、また要望を受け計画中の古川町高野と畦畑を結ぶ林道を事業化に向け検討を進めている。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



澤 史朗 議員

大横丁線の無電柱化について

①変換器設置の用地購入に至った経緯と次期整備予定路線について ②残地の活用方法の考え方

答 弁 ①令和4年度の予備調査の結果、円光寺周辺と大横丁公園周辺に変圧器が必要と判明、適した公共用地が無く、事業実施には民地を購入か賃借の必要があり、円光寺は長期賃借の了承を得、大横丁公園の隣地は地権者から購入。この関連事業費として980万円を計上、国の補助と過疎対策事業債を充て市の実質負担は147万円の見通し。一路線を整備するのに6～7年を要するため、次期三之町線の計画も予備調査の結果を踏まえ事業検討を進めたい。②現公園と一体的に利用できるよう再整備を行いたい。地元地域や観光協会等との検討委員会を年内に開催し、利用及び整備の方向性を協議する予定。

市営プールの今後の運営方針

今夏の利用実績から今後の運営方針と神岡小学校プール改修に伴う旭ヶ丘プールの存続

答 弁 利用実績は、旭ヶ丘486人、河合321人、宮川46人でほぼ児童生徒が利用。監視員の確保が問題で事前予約制をとっている。旭ヶ丘プールは35年経過しており、循環ろ過機の更新やプールサイド床の改修などを含めると5～6千万円、一方、神岡小学校のプールは昭和37年に供用開始、昭和57年に大規模改修をしたが全面改修が必要で、概算で1億4千万円以上の見込み。飛騨市スポーツ施設整備計画の提言にあるように、神小プールを改修して一般開放し、運営を統合するのが現実的。しかし全面改修の着手は未定で、それまでの間、提案のように旭ヶ丘プールの運営を民間委託するのも一つの方法と考える。河合・宮川の市営プールは基本的に維持する方針。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

市民に対して職員が「予算がない」という言葉は使わないで

①市民の声も千差万別ある。人間は「見たいものを見、聞きたいことを聞く」とも言われる。市は多くの施策・業務をしているが理解されていない面もある。万人に関わる（例えばごみ処理・側溝等）ことを目に見える形で行ってほしい。②市民要望への達成は③先送りできないインフラの老朽化への対応は④委託が多くなると物件費が上がるがどのように考えるか⑤シビルミニマムをどう考え活かしているのか。

答 弁 ①予算がないとは使わないようにしっかり指導していく②令和4年度は要望の達成率は46.5%③すべての現場状況を把握して緊急性・効果が高いものを点数化して優先順位を決めている④職員採用が厳しい中、委託は職員の余力を生み出し、産業を育成する側面もあり、トータルで考

えていく必要がある⑤ナショナルミニマムの市民生活に落とし込んだ版と思う。年金生活者・高齢者等自らの努力では何ともならない方々を支援してきている。

ふるさと納税制度は後退・廃止になるのか

10月からふるさと納税制度の新ルールが導入されるが、いま一度考えてみる必要がある。①答弁の中に制度に対してその存続等に後ろ向き発言があったが、実際はどうか②基金等に貯めるばかりでなく、寄附者の意向に添って使うことも必要では

答 弁 ①県下の市長会も真二つに分かれている。後退・廃止になってもおかしくない②国策によって改正が行われるか不透明なゆえに、事業が一斉にストップしないように、抑制的に使っていく必要がある。

YouTube ▶





小笠原 美保子 議員

生涯現役と高齢福祉の取り組みについて

幸福に生きることができるために可能な取り組みは、①「飛騨市シニア生きがいづくりフェア」の取り組みについて。②シニア世代の学びや交流の場づくりについて。③要支援・要介護状態の方への生きがいづくりについて。

答 弁 ①高齢者の就労支援と社会参加のマッチングの機会として開催し44名が来場。60代以上の方は29名。結果をしっかりと振り返り今後につなげる。②飛騨市市民カレッジをブラッシュアップしながら世代を超えて新しいスキルの習得や学び直しのできる場としていく。③自らの介護予防となり、自発的に自分を支える自助、地域で助け合う互助や介護サービスなどの共助において人材不足を補う取り組みにも繋がるため引き続き力を入れる。

空き家対策について

①空き家にしないための予防策について。どのような対策をされていきますか。②空き家を買いたい、借りたい人の想いを登録する逆空き家バンクについて。③更地にした場合の固定資産税について。市民のニーズにどのように対応されるのでしょうか。

答 弁 ①「第2次飛騨市空家等対策計画」において、3つの基本的な対策方針の1つに位置付け、生前に不動産の将来的な方針を決めておくことの必要を周知する取り組みを行っている。②空き家取得、賃貸を望まれる方に住むとこネットを確認いただき、不動産会社へつないでいる。③家屋を解体し更地にすることで土地の固定資産税は上昇するが解体された家屋は減税され差額は様々。現在、市単独の減免措置の導入は考えていないが、今後も流動的と思われるため空き家に関わる税制について情報収集に努める。

YouTube ▶



籠山 恵美子 議員

飛騨市の子ども・子育て支援に問う

①酷暑の夏休み、保護者の方々から学童保育のお弁当の食中毒など、心配な声が相次いだ。幸い保護者の負担軽減や衛生面を考慮し、給食センターの給食を提供することが効果的で望ましいがいかがか。②市長は高等教育に進学する子育て支援を理由に無償化には否定的であるが、義務教育中のこの負担軽減こそその先の進学のための貯えに直結する。せめて国が実施するまでの間、市独自で給食を無償化すべき。

答 弁 ①実施するには困難な課題がいくつもある。子ども家庭庁の食事提供事例集などを参考にしながら利用者の意向も伺い検討して参りたい。②国が財源を保障しない限り無償化するという考えは持ち合わせていない。支援すべき対象者を見定め、さまざまな知恵を絞って実現していく。

県単位化の国民健康保険制度について

①保険料の統一化は「市町村との協議が重要」とされ未定である。なのに市の今年度からの保険料引き上げは見切り発車ではないか。この件に関して市はこれまで県にどのような主張をしてきたのか、市民にわかるように説明願いたい。②市民を守らずなぜ安易に保険料引き上げなのか。保険料賦課決定の権限は県でなく市にあるのだから、県の意向を先取りしたやり方は納得できるものではない。県の一本化には強く反対すべきである。

答 弁 ①②慎重に検討を重ねたので見切り発車ではない。保険料の一本化は平等性の確保、行政の効率化、財政安定化などより効果的かつ持続的な制度の提供をめざすものであり、市民の命とくらしを守ることににつながるものとする。

YouTube ▶



総務常任委員会 管外視察報告

7月26日～27日にスケートパーク整備、社会福祉連携推進法人の運営の観点から、取り組むべき課題を探求するため先進的な取り組みを行っている自治体及び民間団体を視察しました。

① 田辺公園スケートパーク（京都府京田辺市）、久御山中央公園スケートパーク（京都府久御山町）



田辺公園スケートパークの様子

両施設とも、セクション（スケートボード用に造られたアイテムや障害物）は各自治体の設置で維持管理が行われている。基本的な安全管理は公園施設と同等の考えで行われていた。個人の持ち込みもある程度認められており、利用者自身がルールを守って利用している施設となっている。

飛騨市の施設は、場所は提供するがセクションは個人での設置である。固定はされないため、利用の際に移動や木製では腐食する恐れがあり、安全管理についても自己責任となるのかなど、リスク管理に対しどうするのか課題である。

② 社会福祉連携推進法人リガーレ（京都府京都市）



リガーレの理事長と面談する委員等

認定第1号の連携推進法人としてしっかりした考えで事業が動いている。5つの法人からの会費でスーパーバイザーを2名雇い、各法人を廻っている。初任給と年間休日は全ての法人で統一した。しかし、地域差があるので給与は係数加算や、手当で差をつけている。職員が辞めない体制づくりが重要でそこに力を入れていることが分かった。

飛騨市の場合、地域柄人材確保に難しい面が考えられるが、連携推進法人の制度をうまく活用し、参加法人を増やすなどして人材確保に努めていただきたい。

産業常任委員会 管外視察報告

8月2日～4日に森林整備、バイオマス発電、ローカルベンチャー、里山整備の観点から、取り組むべき課題を探求するため先進的な取り組みを行っている自治体を視察しました。

① 森林整備、バイオマス発電、ローカルベンチャー（岡山県西粟倉村）



バイオマス発電用に導入した中型チップパー

人口1,355人という小さな村の西粟倉村だが、平成の大合併では自主自立の道を選び林業でやっていく決意のもと、「百年の森林構想」をスタートさせた。ベンチャー企業が「百森構想」関連事業の推進に大きくかかわり、川上の森林施業は行政、川下では民間が付加価値をつけ林業の六次化を実践している。また、脱炭素先行地域として、水力発電と木質バイオマス事業が盛んである。木質バイオマス事業では森林間伐材を利用したチップボイラーを導入し大規模に取り組んでいる。

② 里山整備（岡山県真庭市）



担当者から説明を受ける委員等

真庭市は「自治体SDGsモデル事業」として国から選定され、確実に実績を積んでいる。「大きな里山資本主義」の代表はバイオマス発電であり、林業、木材産業がしっかり定着している。「小さな里山資本主義」は地域に根差した特色ある資源を活用した事業が展開され、市は民間の動きに合わせバックアップしていくという方針を一貫している。

一方、生ごみ資源の活用による「バイオマス循環システム」にも注目したい。生ごみをバイオ液肥に変換し田畑への肥料に使用。副産物のバイオガスは発電に利用し、回る経済の一環として確立をめざしている。

市民と議会との意見交換会

7月3日から7月18日まで市内18会場で127名のご参加をいただき意見交換会を開催しました。各会場での意見は各委員で整理を行い、下記のように要望しました。要望以外のご意見ご要望の一部をご紹介します。

宮川町 7月3・4日 4会場

- 空き家が多く景観も悪く、相当壊れている空き家があり、特に2棟は危険で解体を支援して欲しい。
- 熊の出没が多く危険が大きい。軽井沢町では民間がクマの生態管理をしており、仕事として生活できるような管理をすることはできないか。
- 少ない人口でも地域を維持する対策をして欲しい。

神岡町 7月10～12日 6会場

- 山之村は昨年に保育園児がいなくなり、あと10年もすれば学校が無くなるのではないかと非常に危機感を持っている。飛騨市も若者が減っているし、帰ってこない。この様な現象に何か考えているか。
- 住宅リフォーム補助金の継続を求む。
- 温浴施設フリーパス券の継続を求める。

河合町 7月5・6日 4会場

- 河合の一番の心配は人口減少である。10年、15年後の生活形態、子育て、福祉、学校、保育所等の将来の見通しと計画はされているのか。
- 移動販売の人が高齢者の支援等できないのか。
- 耕作放棄地が荒廃しないように努力しているが、何とかできないか。

古川町 7月13・18日 4会場

- 山間地が荒れている。守っていく組織の力強い支援をお願いしたい。
- 少子高齢化は確実に進んで行く。関係人口を増やすということで、環境を整備して空き家、民宿等でのリモートワーク活用を全面的に行って関係人口を増やしたらどうか。
- 市は企業誘致を考えていないのか。

市政に関する要望書等を提出

市民との意見交換会や議会として調査してきた事案について、総務・産業常任委員会で協議検討を重ね、次の項目について10月18日、市に対して要望書を提出しました。また、議会改革特別委員会で検討してきた本会議場のあり方(バリアフリー化等)について報告しました。

1. LED防犯灯の交換について
2. スクールバスの修繕及び更新について
3. 鳥獣被害への継続した対策強化について
4. 集落周辺里山林整備及び森林所有者の調査について
5. 行政区をはじめとするボランティアの草刈り作業の支援の拡充について
6. 国道道の非常時における迂回路整備や防災対策強化



市長に要望書等を手渡す右から議長、及び各委員長

12月定例会 日程予定

11月28日(火)	本会議(開会日)	12月11日(月)	常任委員会(付託案件審査)
12月 6日(水)	一般質問(1日目)	12日(火)	予算特別委員会
7日(木)	一般質問(2日目)	14日(木)	本会議(閉会日)
8日(金)	一般質問(3日目)		

編集後記

飛騨にまた、冬がやってきます。今年の夏は平年と比べ、厳しい暑さでしたが四季の移り変わりに冬となり、雪を心配するお声も聞こえてきます。

燃料や電気代の値上がり、それに伴い企業にとって生産コストや輸送コストも上がるため、多くの食品類の値上がりにも繋がっていることを市民の皆様も日々、実感されていることでしょう。9月定例会の補正予算では、低所得者世帯等に加えて家族介護応援手当受給世帯を対象とし灯油券の配布、物価高騰対策に外出、生活サービスに幅広く利用できる「いきいき券」を追加して交付されます。

景気の浮き沈みに翻弄されることなく市民の皆様が、力強く生活できますように今後も議会として尽力してまいります。
(小笠原 美保子)